

中層浮魚礁設置域事前調査

渡 辺 利 明

1. 目的および内容

中城湾港開発推進事業によって設置される中層浮魚礁の設置予定域の環境調査として、水産試験場調査船くろしおを使用して深淺調査、底質調査を実施した。

2. 調査結果

設置予定位置は、津堅島東方 (A) と久高島南方 (B) の2地点である (図-1)。

A : N. $26^{\circ}-15.6'$, E. $128^{\circ}-00.5'$

B : N. $26^{\circ}-06.2'$, E. $127^{\circ}-52.9'$

Aの調査は、1983年12月2日実施し、Bの調査は、1984年1月20日に実施した。

Aの海底地形は設置予定位置の東側に水深90~100mのほぼ平坦な地形が広がっているのに対し、西側はやや傾斜があり起伏も激しくなっている。傾斜は北西方向へ向かって上がっており、最もきついところは $\tan \theta = 0.23$ となっている (図-2)。底質は表-1に示した。

Bの海底地形は設置予定位置の北側に水深80m台の比較的平坦な海底が広がるのに対し、南側、特に南東側でやや傾斜がある (図-3)。底質は表-1に示した。

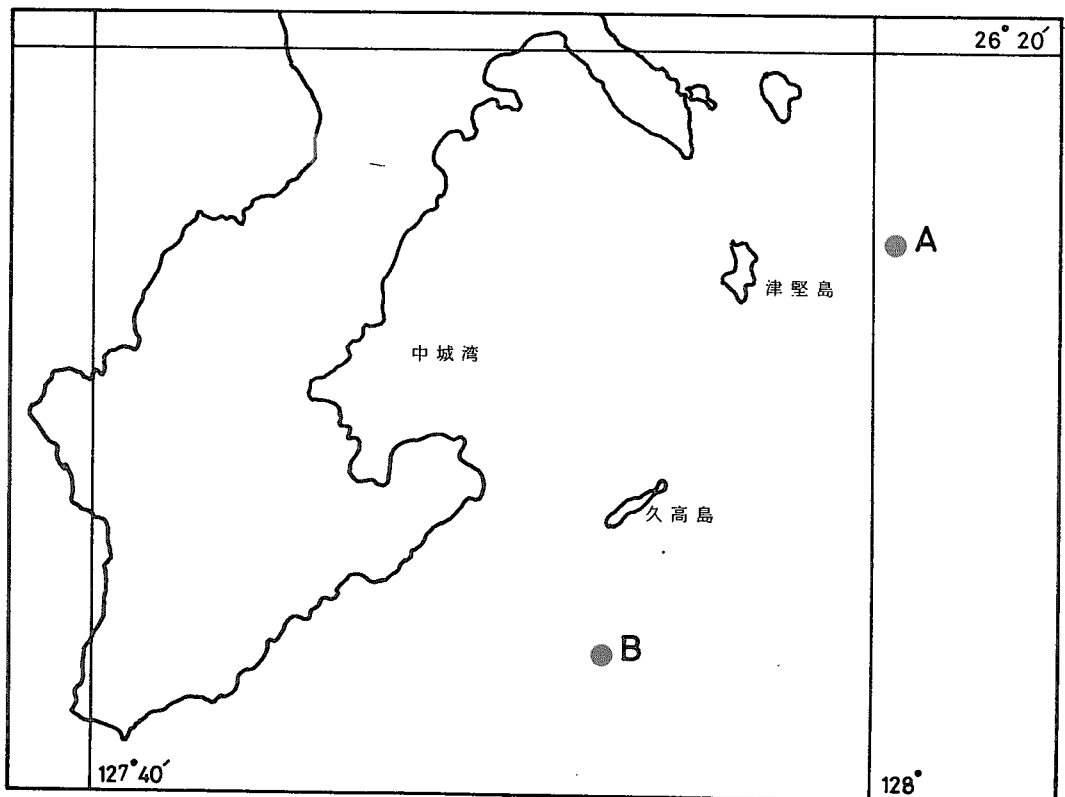
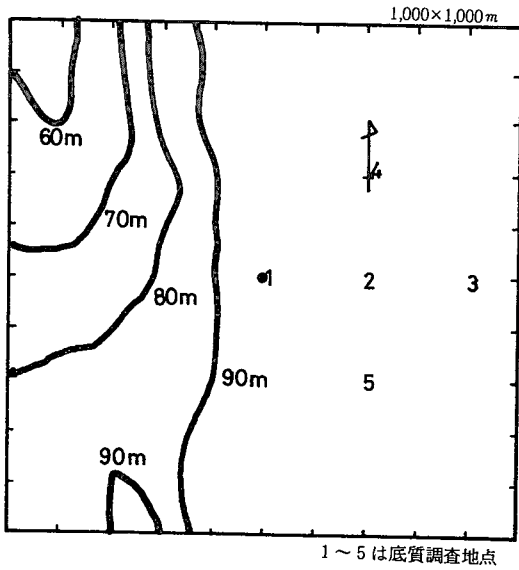
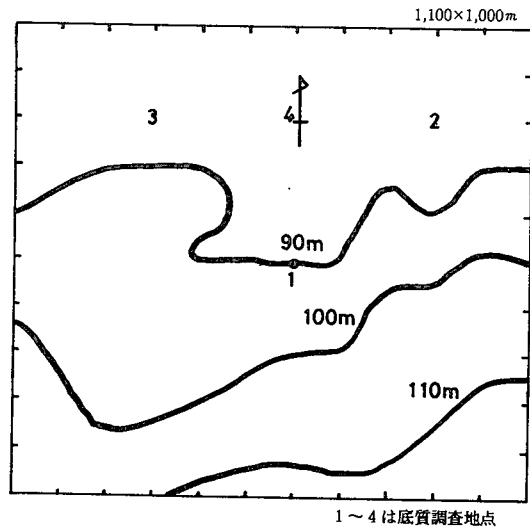


図-1 中層浮魚礁位置図



図一 2 A (津堅沖) の海底地形



図一 3 B (久高沖) の海底地形

表一 1 両地点の底質

採取地点		粒度組織 (中央粒径値)	備 考
A	1	-1~0 (極粗粒砂)	サンゴれき混じり
	2	3~4 (極細粒砂)	
	3	2~3 (細粒砂)	
	4	3~4 (極細粒砂)	
	5	3~4 (")	
B	1	—————	岩盤 (石灰藻、有孔虫・貝殻片少量)
	2	—————	" (")
	3	-1~0 (極粗粒砂)	
	4	—————	" (")

3. 設置する中層魚礁

A、B各地点に設置する中層魚礁の構造と配置を図-4～6に示した。

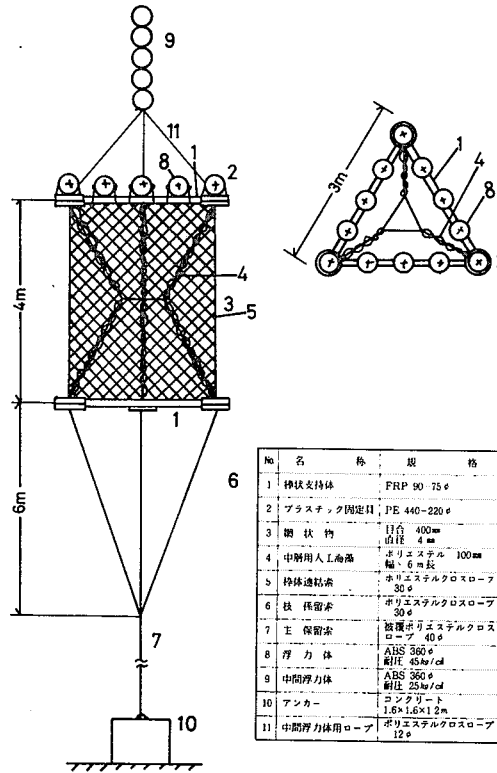
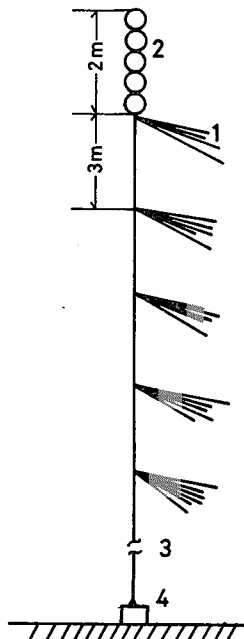


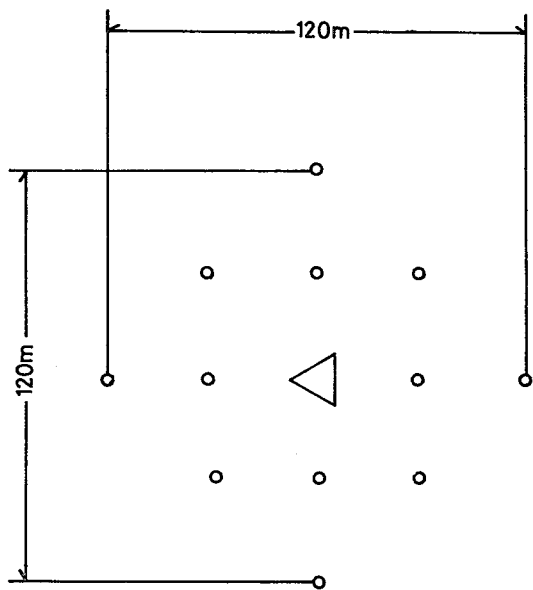
図-4 中層浮魚礁 NP-I 型



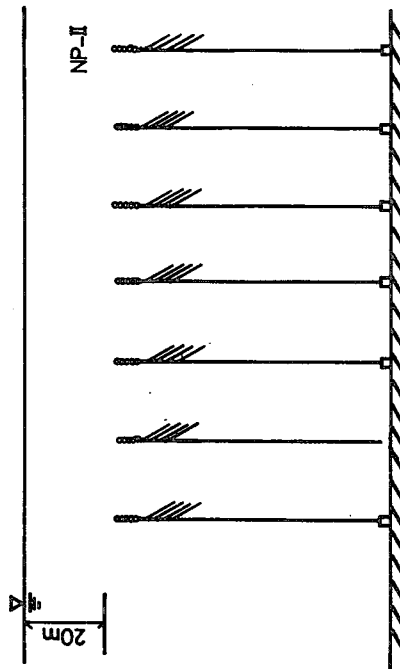
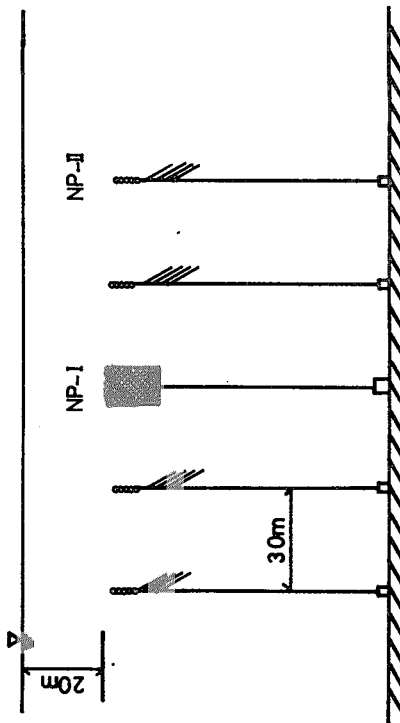
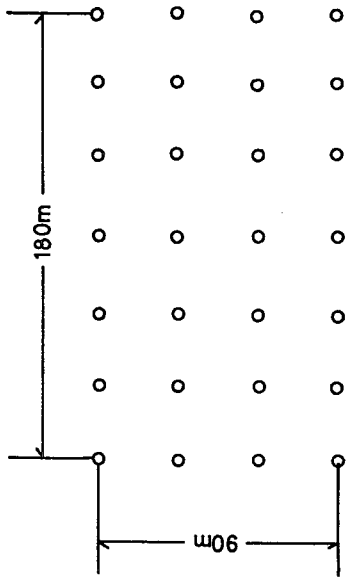
No.	名称	規格
1	人工海藻魚礁用人工海藻	ポリエステル100mm×2m
2	浮子	AB5 360φ 耐圧 25kn/cf
3	主保留索	ポリエステルクロスロープ 14φ
4	アレカー	コンクリート 0.65×0.65×0.65m

図-5 中層浮魚礁 NP-II 型

A



B



图一6 中层浮鱼礁配置图